

## 事例6 ICT端末とワークシートを組み合わせ活用し、児童自身が学びをつくる指導の事例

- 学年 第6学年
- 主要内容 内容「A家族・家庭生活」(2) 家庭生活と仕事 アイ
- 事例のポイント
  - ①既習事項や、現状を振り返りながら、個人の目標をもてるようにする。
  - ②ポートフォリオやワークシートを使って自己評価を行いながら、次の学びにつなげることができるようにする。

### ICTを活用した主な学習場面

- ・既習事項を確認する場面
- ・児童の考えを共有する場面
- ・家庭実践を共有する場面

### ICT活用の利点

- ①ICT端末を活用し、既習事項を共有することで、既習事項を振り返り、主体的に学ぶことができる。
- ②ICT端末を活用して家庭実践の共有とフィードバックを行うことで、児童が課題解決に向けた視野を広げ、学びを自己評価・改善し、自分の実践を振り返りながら、継続的に取り組むことができる。

## 1 題材名 「見つめてみよう生活時間」 内容A (2)アイ 第6学年

### 2 題材について

#### (1) 児童について (略)

#### (2) 題材について

本題材は、内容「A家族・家庭生活」の(2)「家庭生活と仕事」に関する題材である。家庭生と仕事について、課題をもって、家庭の仕事と生活時間に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、家族の一員として生活時間の使い方を考え、家庭の仕事の計画を工夫することができるようにすることをねらいとしている。家庭の仕事を理解したり工夫したりすることで、よりよい生活を過ごすことができるようにする。そのよさを知り、今までの経験を生かして生活時間の有効な使い方を考えるとともに、家庭の仕事についての課題を解決することで、思考の深まりが期待できる。また、家族と協力・協働して、よりよい生活に向けて考え工夫する活動は、中学校での「幼児の生活と家族」や「家族・家庭や地域との関わり」のように広い範囲で家庭生活を支える「他者と関わる」題材へつながるものである。

#### (3) 指導について

第1、2時の「生活時間を見つめてみよう」では、なぜ生活時間について学ぶ必要があるのかを考えていく。自分の理想の1日をイメージし、自分の生活時間に必要な要素を考える。個人が自由に使う時間や、食事や団らんなど家族とともに過ごす時間、家庭の仕事の時間などを考え、家族と協力する時間がなぜ必要か理解する。その後、学習後の自分の目標とする姿をポートフォリオに記入し、個人の目標を作成して、学習に必要感をもてるようにしていく。

第3、4時の「生活時間を工夫しよう」では、まず、児童自身が大切にしたい視点は何か、共通のシミュレーションを通して、生活時間の有効な使い方のポイントを学んでいく。次に既習事項を基に、自分の生活時間を考える。その際、自分と家族の生活時間を比較し、自分も家族もよりよく生活していくための工夫について考えられるようにするとともに、学級内で工夫点を共有して、家庭実践へ意識を向けられるようにする。

第5時の「生活時間を有効に使おう」では、家庭実践を通して、自らの生活がよりよくなった場面を考える。実践後に報告会の場を設け、今後活かそうなことや改善点を検討し合う。また、個人の目標にどれだけ近づくことができたかを振り返り、次の実践へ意欲を高められるようにする。

### 3 題材の目標

- (1) 家庭には、家庭生活を支える仕事があり互いに協力し分担する必要があることや、生活時間の有効な使い方について理解する。 〈知識及び技能〉
- (2) 家庭の仕事や家族とのよりよい関わりについて問題を見いだして課題設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。 〈思考力、判断力、表現力等〉
- (3) 家族の一員として生活をよりよくしようと、家庭生活と仕事について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとする。 〈学びに向かう力、人間性等〉

### 4 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
家庭には、家庭生活を支える仕事があり、互いに協力し分担する必要があることや、生活時間の有効な使い方について理解している。	家庭の仕事や家族とのよりよい関わりについて問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	家族の一員として、生活をよりよくしようと家庭生活と仕事について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。

### 5 題材の指導と評価の計画（5時間扱い）

〔1〕生活時間を見つめてみよう	2時間
〔2〕生活時間を工夫しよう	本時（2／2） 2時間
〔3〕生活時間を有効に使おう	1時間

小 題 材	時	○ねらい・学習活動	評価規準・評価方法		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生活時間を見つめてみよう	1	○自らの生活を振り返り、現状を把握する。 ・自分の理想の1日をイメージし、生活時間に必要な要素を考える。 ・自分の実際の生活時間を振り返り現状の把握をする。		①家庭の仕事や家族とのよりよい関わりについて問題を見いだしている。（活動の様子、ワークシート）	
	2	○なぜ生活時間を学ぶ必要があるのか考える。 ・学習後の自分の目標とする姿である個人の目標を考える。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">事例のポイント①</div>		②家庭の仕事や家族とのよりよい関わりについて個人の課題を設定している。（活動の様子、ワークシート）	①家族の一員として生活をよりよくしようと家庭生活と仕事について課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。（活動の様子、ワークシート、ポートフォリオ）

生活時間を工夫しよう	<p>3</p> <p>○共通のシミュレーションをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童自身が大切にしたい視点は何か考える。</li> <li>・自分と家族の生活時間を比較し、自分も家族もよりよく過ごすための工夫を考える。</li> </ul>	<p>①家庭には、家庭生活を支える仕事があり、互いに協力し分担する必要があることや、生活時間の有効な使い方について理解している。 (活動の様子、ワークシート)</p>		
4 本時	<p>○自分の生活時間計画を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分と家族の生活時間を比較し、よりよく過ごすための工夫をした計画を立てる。</li> </ul> <p><b>ICT活用の利点①</b></p> <p><b>事例のポイント①</b></p>		<p>③家庭の仕事や家族とのよりよい関わりについて様々な解決方法を考えている。 (活動の様子、ワークシート)</p>	
編P122指導計画作成の留意事項(1/2)				
生活時間を有効に使おう	<p>5</p> <p>○家庭実践を振り返り、生活時間のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭実践を学級内で共有する。</li> <li>・有効だった方法や工夫した点について発表し、よい点や改善点について意見を出し合う。</li> </ul> <p>○題材を振り返り、今後の取り組みについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学級内で共有したことを基に、自分の生活時間を見直す。</li> <li>・個人の目標にどれだけ近づくことができたか、今後の取り組みについて考える。</li> </ul> <p><b>事例のポイント②</b></p>		<p>④家庭の仕事や家族とのよりよい関わりについて実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けようとしている。 (活動の様子、ワークシート)</p>	<p>②家族の一員として生活をよりよくしようと家庭生活と仕事について、振り返って改善しようとしたり、生活を工夫したりして、実践しようとしている。(活動の様子、ワークシート、ポートフォリオ)</p>

6 本時の学習指導（本時 4 / 5）

(1) 目標 家庭の仕事や家族とのよりよい関わりについて様々な解決方法を考える。

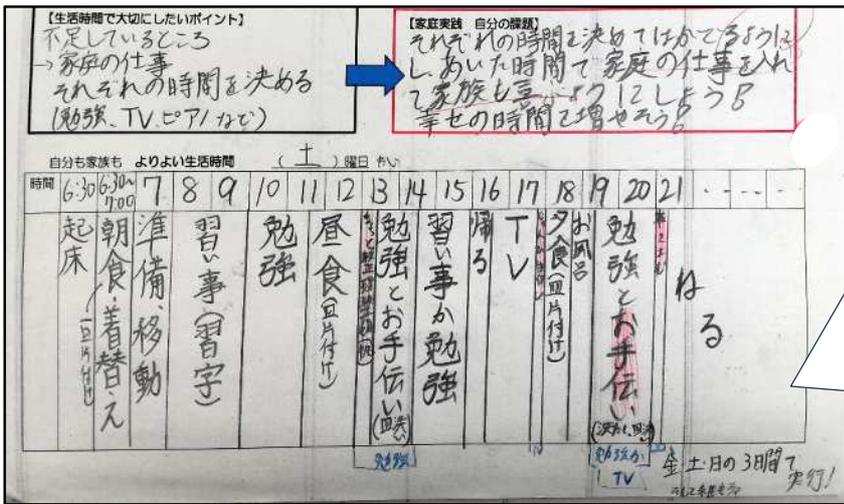
〈思考力、判断力、表現力等〉

(2) 展開

時間	学習活動	指導上の留意点（・）評価規準（◇） 【評価の観点】（評価方法） 手立て（→）		
3	1 既習事項を振り返り本時のめあてを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>既習の生活時間の有効な使い方のポイントや家庭の仕事を確認できるようにする。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin: 5px;">ICT活用の利点①</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; display: inline-block; margin: 5px;">編P122指導計画作成の留意事項(1)</div>		
2	2 学習目標を確認する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">本時のめあて 自分や家族が気持ちよく過ごすための生活時間を計画しよう。</div>		
10	3 家庭実践の計画を立てる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>題材のめあて、個人の目標を確認する。</li> <li>自分や家族の生活を振り返り、どのようにすることで自分や家族が気持ちよく過ごすことができるかを考えられるようにする</li> <li>例を挙げ、家庭実践の計画を立てる際のポイントを確認する。</li> <li>ICT端末を用いて児童の家庭実践の課題を共有する。</li> <li>自分の目標を基に、個人かグループの学習形態を選択して活動する。</li> <li>現在の生活時間の表に書き込んだり、家族からのアンケートを参考にしたりしながら、生活時間の見直しが必要なところや有効な方法を考えられるようにする。</li> </ul>		
10	4 班で共有し、自身の生活時間を見直す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分や家族が気持ちよく過ごすことができる生活時間を計画できているかという視点をもって班で生活時間を共有し、見直すことができるようにする。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; display: inline-block; margin: 5px;">編P122指導計画作成の留意事項(2)</div>		
10	5 班で共有したことを基に家庭実践の計画を再度立てる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>決まった計画を計画表に記入していく。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">◇家庭の仕事や家族とよりよいかかわりについて様々な解決方法を考えている。 【思考・判断・表現】（活動の様子・ワークシート）</div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;">おおむね満足できる状況（B）</td> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の目標とする姿、その姿になるために自分にできることを考えている。</li> <li>→どのようにしたらよいか分からない児童には、現在の自分の生活や家族のアンケートを見返して考えるよう助言する。</li> <li>また、友達の生活時間の使い方を参考に考えるよう促す。</li> </ul> </td> </tr> </table>	おおむね満足できる状況（B）	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の目標とする姿、その姿になるために自分にできることを考えている。</li> <li>→どのようにしたらよいか分からない児童には、現在の自分の生活や家族のアンケートを見返して考えるよう助言する。</li> <li>また、友達の生活時間の使い方を参考に考えるよう促す。</li> </ul>
おおむね満足できる状況（B）	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の目標とする姿、その姿になるために自分にできることを考えている。</li> <li>→どのようにしたらよいか分からない児童には、現在の自分の生活や家族のアンケートを見返して考えるよう助言する。</li> <li>また、友達の生活時間の使い方を参考に考えるよう促す。</li> </ul>			

10	6 本時の学習をまとめ、次時からの学習に対して見通しをもつ。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">事例のポイント②</div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人の目標に正対するまとめ、振り返り、達成度をワークシートに記録するよう伝える。</li> <li>・本時の学習のまとめや次回に向けての意欲を自分の言葉で振り返りポートフォリオに考えたことを記録することを確認する。</li> </ul>
----	---	--

7 学習評価の具体例  
〈ワークシートの一部〉



「家庭の仕事」2時間  
 ・ちょっと整理・整頓 (机)  
 ・お手伝い (皿洗い、夕食準備、皿片付け、洗濯)

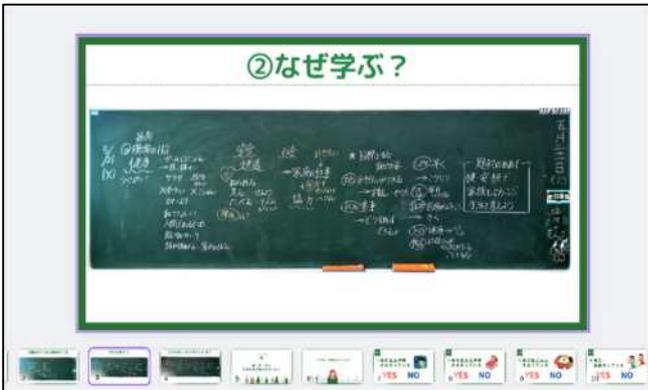
「自分の活動」2時間  
 ・テレビ、勉強  
 →自分で調整することのできる時間を有効に活用している。

【思考・判断・表現】※十分満足できる」状況 (A) と判断した児童の具体的な例  
 自分で調整することができる時間を、「家庭の仕事」と「自分の活動」の時間とし、バランスよく設定していることや、時間配分を具体的に決め、家庭内での役割を果たしながらも自分の学びや活動を大切にしていることから、「おおむね満足できる児童の姿 (B)」を上回る「十分満足できる状況」 (A) と判断した。

8 指導の実際

事例のポイント① ICT活用の利点① (4/5時)

題材全体の板書や授業で使用した資料を児童がいつでも見られるよう共有できる。グループウェアや授業の写真やポイントを記録した掲示物、個人のポートフォリオを活用できる。児童が自身にあった方法で既習事項を振り返り、学びをつなげることができる。



(授業の板書、スライドの共有)



(掲示物の活用)

## ICT活用の利点② (5/5時)

ICT端末を活用し、児童が家庭実践の課題に対して行ったことを共有することで、個々の課題解決に向けた視野を広げることができる。また、ICT端末に実践の写真や感想をまとめ、友達からコメントやリアクションを受けることで、児童自身が学びを評価・改善し、学びをつくることができる。



(A児の工夫)

タイマーを設定し、活動時間を有効に使う工夫を写真に撮り共有している。

「大切にしたいポイント」  
勉強時間をふやす  
→スマホ見る時間を減らしたり、自分にとって親にとってもメリットになる勉強法(したくなる方法)を見つける  
↑  
スマホ見る時間減ったら寝る時間も増えるのでは？  
「自分の課題」  
自分の勉強時間や勉強に対する気持ちの変化を調べる。また、どうしたらそのような変化が起こるのかも見つけ、親も自分も納得できるような案も提案する。

👍 10

工夫したことを、ICT端末でまとめて共有している。

休止時間を設定することで、スマホを見ないようにして勉強時間が確保できるね！ 😊

寝る時間が増えてハッピーになったのがいいね 🙌 😊

(A児の工夫に対する学級内のコメント)

A児の共有した工夫に対してICT端末で、コメントをしている。

## 事例のポイント② (5/5時)

題材全体：学習後の自分の姿を想起する。  
題材導入時に題材を通して児童自身が身に付けたい力や、学習後にどのような姿になっていたのかをポートフォリオに記入できる。また、学習後に目指す姿に近付くために、題材全体で何を学習したいか自分の課題を設定させ、学習後に向けて意欲を高めることができる。

★目標とする自分の姿  
安全、快適を意識して  
家庭の仕事を分担して  
きる外になりたい  
生活を取りたい

★目標とする自分の姿になるためには、  
どんなことを学ぶとよいか  
お母さんが行っている  
仕事を理解し、少し  
もお母さんの負担(仕事)を  
減らしたい

★記入のポイント★ 学習がもっと深まるよ!!

(児童のポートフォリオ)

授業振り返り：ポートフォリオを用いて振り返りをし、現状を把握する。

個人の課題に対する達成度

<p>家庭実践の共有 会しよう</p>	<p>みんなにわかるよ うにゆつこい効果 を期待する</p>	<p>③みんなの力を表 わすれ、力量をゆつこ く伸ばして もってあげておかげです。 これから継続していき</p>	<p>98 %</p>
-------------------------	--	--	-----------------

授業のめあて  
(授業で行うこと)

個人の課題

ポートフォリオに毎時間、個人の課題に対する振り返りや、個人の課題に対する達成度を記入できる。また、児童自身が課題に対して達成度を示すことで、学習の伸びを実感するとともに、自信をもったり、見通しをもったりして学習の伸びを実感しながら、次の学びにつなげることができる。

〈ポートフォリオのために使用したワークシート〉

見つめてみよう生活時間 計画表  
6年( )組( )番 名前

☆自分の目標とする姿



☆個人の目標  
(自分の目標とする姿になるために、  
どのようなことを学ぶとよいか)

☆配入のポイント☆ 学習がもっと深まるよ!!

めあて	・この時間に自分が学習すること
①まとめ ②ふり返り、 次回に向けて	①課題に対する答え、結論(例:~するには、○○するとよい ○○が必要) ②学びの成果、自分の気持ち、思い(例:~ができて嬉しい、 難しい、苦手、次回はもっと早く、もっと丁寧に~したい ○○さんが~, 以前は~だったけれど、...)
達成度	・個人の目標をどの程度解決することができたか

ふり返りの視点  
協力  
健康・快適・安全  
生活文化  
持続可能な社会

	月日	めあて	①まとめ②ふり返り、次回に向けて	達成度
1	/ ( )			%
2				%
3				%
4				%
5				%

題材をふり返って

個人の目標に  
対する達成度

%